

## ● 企業による学校教育支援の実例 ●

実際に学校と連携をして授業プログラムを作成し、成果をあげている企業の取組について御紹介します。

企業による授業支援の例 「食」の大切さ・楽しさを体験しよう！

### 「明治乳業食育セミナー」

明治乳業は、昨年度杉並区の小学校で3年生を対象に「あなたもわたしも牛乳博士（カラダとカルシウムのひみつ）」という食育の授業を行いました。



▲実物大の牛も登場！意欲を高めます。

#### 1 ここが知りたい！

#### 学校との連携は、どのように行ったのですか？

学校と連携したくても、実際どうしたらいいのか、具体的な方法が分からなくて思うように連携できないという企業が多いのが現状ですが、明治乳業の場合はどのように連携を進めたのでしょうか。



▲パワーポイントを活用して分かりやすく。

#### 学校教育コーディネーターの活用

連携に際しては、「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」の紹介による学校教育コーディネーターが重要な役割を果たしました。コーディネーターが学校と企業の間に入り、学校と外部人材をつなげるために様々な調整を行いました。もちろん、学校側が直接、企業と電話等で連絡を取り、連携を進めていくことも可能です。学校側からの働きかけが重要です。

#### \*学校教育コーディネーターとは

(地域によって名称は異なります)

学校外部にある教育力を学校の教育活動に効果的に導入するために、学校と外部の教育力をつなぐ役割を果たしています。学校内に学校教育コーディネーターがいることで、教員はコーディネーターとともに授業を組み立て、実践に臨むことができます。詳しくは、6ページ「私の街のコーディネーター」を御覧ください。

#### 2 ここが知りたい！

#### プログラムは、どのように作成したのですか？

明治乳業のプログラムは、コーディネーターの紹介により、社内の管理栄養士と学校の栄養士が共同で作成したことが特色です。学校側と企業側が連携してプログラムをつくることで、より学校現場で活用しやすいものになります。実際の授業ではゲストティーチャーと担任、栄養士が連携し、パワーポイントを効果的に活用したり、実物などを示したりしながら、カルシウムの大切さや骨を強くする方法について具体的に学びました。

#### 明治乳業は今後の展望として、次のことを挙げています。

- 明治乳業から専門の栄養士を派遣し、教員と協力して授業を実施していく。
- 授業プログラムを将来的にはパワーポイント、その他の教具、教材も含めたパッケージとして作成し、広く学校に提供していく。
- その他、以前から展開している、一般向けの講座「明治クッキングサロン」(牛乳・乳製品料理講習会)についても、ますます充実させ、企業としての社会貢献に取り組んでいく。

#### 明治乳業の18年度向けプログラムの紹介

小中学生向け「総合的な学習のサポートプログラム」

・乳牛と牛乳	・手作りカッテージチーズ(実験)
・牛乳をもっと知ろうよ	・手作りバター(実験)
・元気なカラダをつくるカルシウム	・手作りヨーグルトチーズ(実験)
・朝ごはんのミラクルパワー	

明治乳業では、今年度も引き続き都内の多くの学校で、このように骨の大切さやカルシウム摂取の大切さを重点においた、食に関する授業を展開して行く予定です。皆さんの地域や学校でも、このような連携を進めてみてはいかがでしょうか。